

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 株式会社 GSIクレオス

上場取引所 東大

コード番号 8101 URL <http://www.gsi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 深瀬 佳洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 松下 康彦

TEL 03-5211-1802

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	25,008	△3.3	390	△17.0	339	△23.7	192	△28.7
21年3月期第1四半期	25,869	—	470	—	444	—	269	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.98	—
21年3月期第1四半期	4.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	55,123	10,109	18.2	155.64
21年3月期	53,951	9,287	17.0	142.79

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 10,020百万円 21年3月期 9,193百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期									
連結累計期間	54,000	△2.9	650	△38.2	400	△66.0	350	40.7	5.44
通期	109,000	1.2	1,300	△21.9	900	△28.9	700	68.3	10.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 64,649,715株 21年3月期 64,649,715株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 267,753株 21年3月期 264,146株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 64,383,330株 21年3月期第1四半期 64,423,146株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

①業績の概況

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）におけるわが国経済は、景気後退に一部下げ止まりの兆しがみられたものの、個人消費の低迷などにより、依然厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大方針のもと、目標利益の確保ならびに経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、アジア向け取引は拡大しましたが、景気低迷の影響を受けたことから、売上高は前年同期比860百万円、3.3%減収の25,008百万円となりました。

売上総利益は、利益率が0.3ポイント改善したものの、売上高の減少が影響し、前年同期比26百万円、0.8%減益の3,161百万円となりました。営業利益は前年同期比80百万円、17.0%減益の390百万円、経常利益は前年同期比105百万円、23.7%減益の339百万円、四半期純利益は前年同期比77百万円、28.7%減益の192百万円となりました。

②セグメント別の状況

【繊維関連事業】

- ・肌着などの実用衣料が消費不振の影響を受けたものの、企画提案型の婦人ファンデーションならびにインナー用原糸および生地取引は大きく伸長しました。
- ・婦人アパレルおよびアウターOEM取引は店頭不振の影響を受け苦戦を強いられました。また、欧州および韓国向けアウター用生地輸出取引も景気低迷と円高の影響を受けたことから低調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比422百万円、2.2%増収の19,852百万円、営業利益は前年同期比4百万円、1.0%減益の452百万円となりました。

【非繊維関連事業】

- ・生産調整や設備投資の低迷から、樹脂などの工業用材料および機械装置の取引が低調に推移しました。特に、半導体市況の悪化により、エレクトロニクス関連機材や米国における化学製品の取扱いが減少しました。
- ・生活関連雑貨の取扱いは消費不振により減少しましたが、プラモデル用塗料の取扱いは堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比1,283百万円、19.9%減収の5,156百万円、営業利益は前年同期比116百万円、46.1%減益の135百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、売上債権、投資有価証券の増加などにより、前期末比1,172百万円増加の55,123百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比349百万円増加の45,013百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加および評価・換算差額等の増加により、前期末比822百万円増加の10,109百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,212百万円の増加（前年同期比569百万円の収入の増加）となりました。主な要因は仕入債務の増加、税金等調整前四半期純利益によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、76百万円の減少（前年同期比10百万円の支出の減少）となりました。主な要因は貸付による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、783百万円の減少（前年同期比237百万円の支出の増加）となりました。主な要因は短期借入金の返済によるものです。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比402百万円増加の8,792百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,792	8,389
受取手形及び売掛金	24,717	24,359
商品	8,860	8,930
未着商品	40	30
その他	1,383	1,474
貸倒引当金	△460	△475
流動資産合計	43,334	42,710
固定資産		
有形固定資産	5,699	5,686
無形固定資産		
のれん	43	60
その他	79	76
無形固定資産合計	122	136
投資その他の資産	5,966	5,417
固定資産合計	11,788	11,240
資産合計	55,123	53,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,452	16,217
短期借入金	22,722	23,341
1年内返済予定の長期借入金	75	75
未払法人税等	182	105
引当金	425	597
その他	2,168	2,354
流動負債合計	43,025	42,692
固定負債		
長期借入金	500	528
退職給付引当金	1,308	1,297
負ののれん	54	61
その他	123	83
固定負債合計	1,987	1,971
負債合計	45,013	44,663

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	2,628	2,436
自己株式	△51	△51
株主資本合計	10,672	10,480
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△192	△714
繰延ヘッジ損益	△25	△15
為替換算調整勘定	△433	△555
評価・換算差額等合計	△651	△1,286
少数株主持分	89	93
純資産合計	10,109	9,287
負債純資産合計	55,123	53,951

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	25,869	25,008
売上原価	22,680	21,846
売上総利益	3,188	3,161
販売費及び一般管理費合計	2,717	2,770
営業利益	470	390
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	34	35
その他	81	51
営業外収益合計	129	98
営業外費用		
支払利息	135	114
その他	20	36
営業外費用合計	156	150
経常利益	444	339
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	441	339
法人税、住民税及び事業税	137	132
法人税等調整額	△1	11
法人税等合計	135	143
少数株主利益	36	3
四半期純利益	269	192

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	441	339
減価償却費	49	49
のれん償却額	8	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3	11
事業撤退特別損失引当金の増減額(△は減少)	—	△67
受取利息及び受取配当金	△48	△47
支払利息	135	114
為替差損益(△は益)	△14	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	1	△0
有形固定資産除却損	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	△424	△6
たな卸資産の増減額(△は増加)	△567	154
その他の資産の増減額(△は増加)	△126	118
仕入債務の増減額(△は減少)	1,476	967
その他の負債の増減額(△は減少)	△57	△317
その他	△4	△17
小計	898	1,306
利息及び配当金の受取額	36	47
利息の支払額	△138	△114
法人税等の支払額	△154	△27
営業活動によるキャッシュ・フロー	642	1,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14	△8
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△0	△1
貸付けによる支出	△82	△69
貸付金の回収による収入	9	8
その他	△0	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△521	△738
長期借入金の返済による支出	△21	△28
少数株主への配当金の支払額	△3	△7
その他	△0	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△546	△783
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65	402
現金及び現金同等物の期首残高	8,888	8,389
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△58	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,764	8,792

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成 20年4月1日 至 平成 20年6月30日) (単位:百万円)

	繊維 関連事業	非繊維 関連事業	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	19,429	6,439	25,869	—	25,869
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	36	36	(36)	—
計	19,429	6,475	25,905	(36)	25,869
営業費用	18,973	6,223	25,197	201	25,398
営業利益	456	251	708	(237)	470

(注) (1) 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

(2) 各事業の主要商品

繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

(3) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門に係る費用であります。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成 21年4月1日 至 平成 21年6月30日) (単位:百万円)

	繊維 関連事業	非繊維 関連事業	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	19,852	5,156	25,008	—	25,008
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30	30	(30)	—
計	19,852	5,186	25,038	(30)	25,008
営業費用	19,400	5,050	24,450	166	24,617
営業利益	452	135	587	(196)	390

(注) (1) 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

(2) 各事業の主要商品

繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

(3) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成 20年4月1日 至 平成 20年6月30日) (単位:百万円)

	日 本	アジア	北 米	計	消去又は全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	22,971	1,649	1,247	25,869	—	25,869
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,151	103	94	1,349	(1,349)	—
計	24,123	1,753	1,342	27,218	(1,349)	25,869
営業費用	23,711	1,754	1,281	26,747	(1,348)	25,398
営業利益	411	△ 1	60	471	(0)	470

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

当第1四半期連結累計期間(自 平成 21年4月1日 至 平成 21年6月30日) (単位:百万円)

	日 本	アジア	北 米	計	消去又は全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	20,411	3,716	880	25,008	—	25,008
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,395	16	71	2,484	(2,484)	—
計	22,807	3,732	952	27,492	(2,484)	25,008
営業費用	22,458	3,700	932	27,091	(2,474)	24,617
営業利益	348	32	19	400	(9)	390

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成 20年4月1日 至 平成 20年6月30日） （単位:百万円）

	アジア	北米	その他	計
I. 海外売上高	3,442	1,041	517	5,000
II. 連結売上高				25,869
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.3	4.0	2.0	19.3

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

その他・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成 21年4月1日 至 平成 21年6月30日） （単位:百万円）

	アジア	北米	その他	計
I. 海外売上高	4,987	832	353	6,174
II. 連結売上高				25,008
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.9	3.4	1.4	24.7

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

その他・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。